

2019 年度  
「越谷市觀光振興計畫」  
進捗狀況報告書

2020 年 6 月  
環境經濟部觀光課

## 【目次】

1. 越谷市観光振興計画の目標の管理と評価.....	1
2. 目標値に対する実績値とその達成率の測定.....	3
3. 主要施策の評価とリーディングプロジェクトの推進.....	5
(1) 主要施策の実施状況 .....	5
①観光資源のブラッシュアップ .....	5
②イオンレイクタウンや地域産業を活かした取組の推進 .....	5
③新たな魅力の創造と観光基盤の整備.....	6
④観光を核としたブランドプロモーションの推進 .....	7
⑤訪日外国人旅行者の誘客と広域観光の推進.....	8
⑥シビックプライド（郷土愛）の醸成と観光人材の育成 .....	9
(2) リーディングプロジェクトについて.....	10
①水辺空間を活用した新たなコンテンツづくり .....	10
②イオンレイクタウンとの連携と回遊性の向上.....	10
③食を活かしたトップブランドの創出.....	11
④（株）JTBのノウハウを活かした展開 .....	11
⑤宿泊施設や公共交通などの観光基盤の整備.....	11
⑥ターゲットを明確にしたプロモーションの強化 .....	11
⑦訪日外国人旅行者を対象にしたクールなコンテンツづくり .....	12
⑧シビックプライド（郷土愛）の醸成.....	12
4. 参考資料【主な事業一覧】 .....	14

# 1. 越谷市観光振興計画の目標の管理と評価

～はじめに～

越谷市観光振興計画（以下、「観光振興計画」という。）を着実に推進するため、次の3つを基本方針とします。

- 「目標の達成状況」、「主要施策の検証」および「リーディングプロジェクトの取組内容」について、分かりやすく体系的に検証します。
- 観光振興に関する包括連携協定を締結している（株）JTBが培った大手旅行会社のノウハウを活かします。
- 中間検証・最終総括では、関係団体・民間事業者等に情報を提供し、広く意見を集め、各種施策や事業のブラッシュアップの参考にします。

## (1) 目的

「観光振興計画」に掲げる将来像「人と水と緑を結ぶ スマイル創造・交流タウン“こしがや”」の実現に向けて設定した目標の達成状況を把握するとともに、実施した各種施策や事業を評価し、もって「観光振興計画」の実効性を確保することを目的とします。

## (2) 目標の管理と評価の仕組み

### ①目標の達成状況

目標値に対する実績値と達成率を測定し、進捗を確認します。

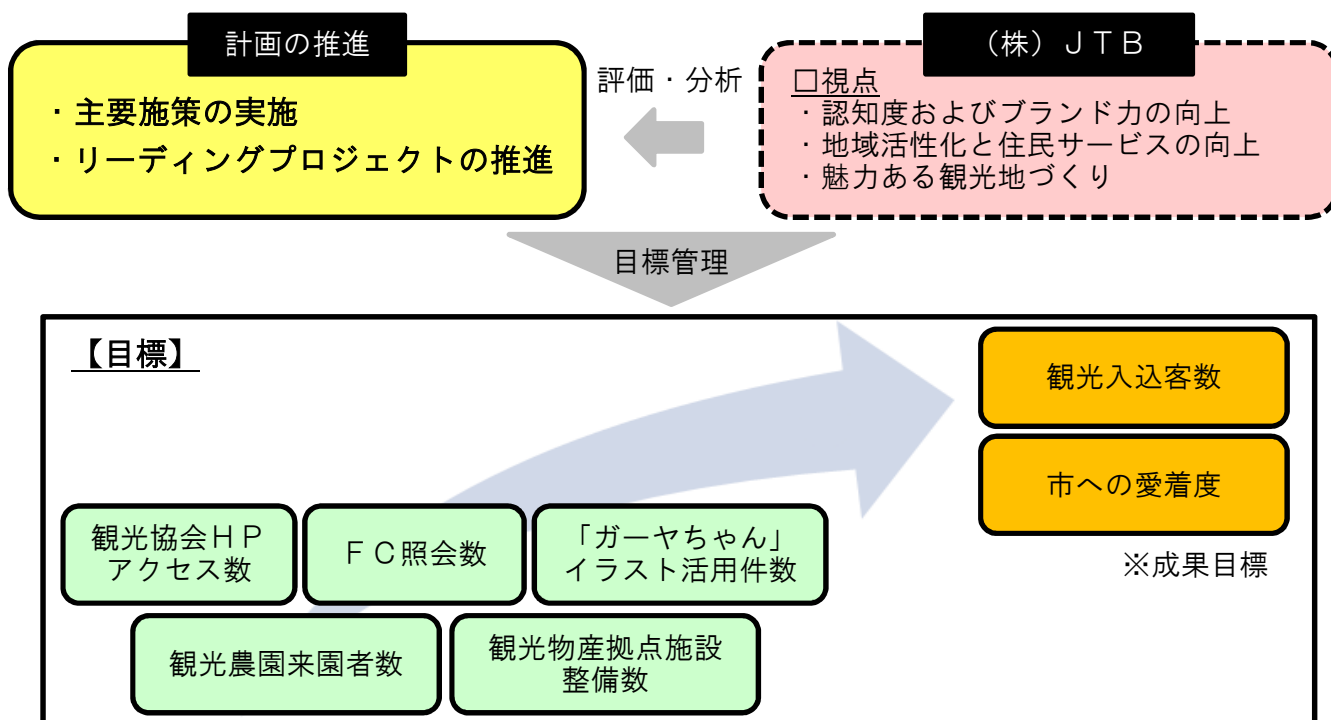
### ②主要施策の検証

「基本方針」に位置づけた各種主要施策を検証し、課題および今後の方向性等を検討します。また、観光振興に関する包括連携協定を締結している（株）JTBに分析を依頼し大手旅行会社のノウハウを活かします。

### ③リーディングプロジェクトの取組内容

主要施策に位置づけられている「リーディングプロジェクト」の具体的な取組内容を適切に把握・整理します。

## 【イメージ】



### (3) 管理と評価のスケジュール

#### ①進行管理

進行管理では、上記(2)のとおり各年度を単位とした進捗状況を把握します。

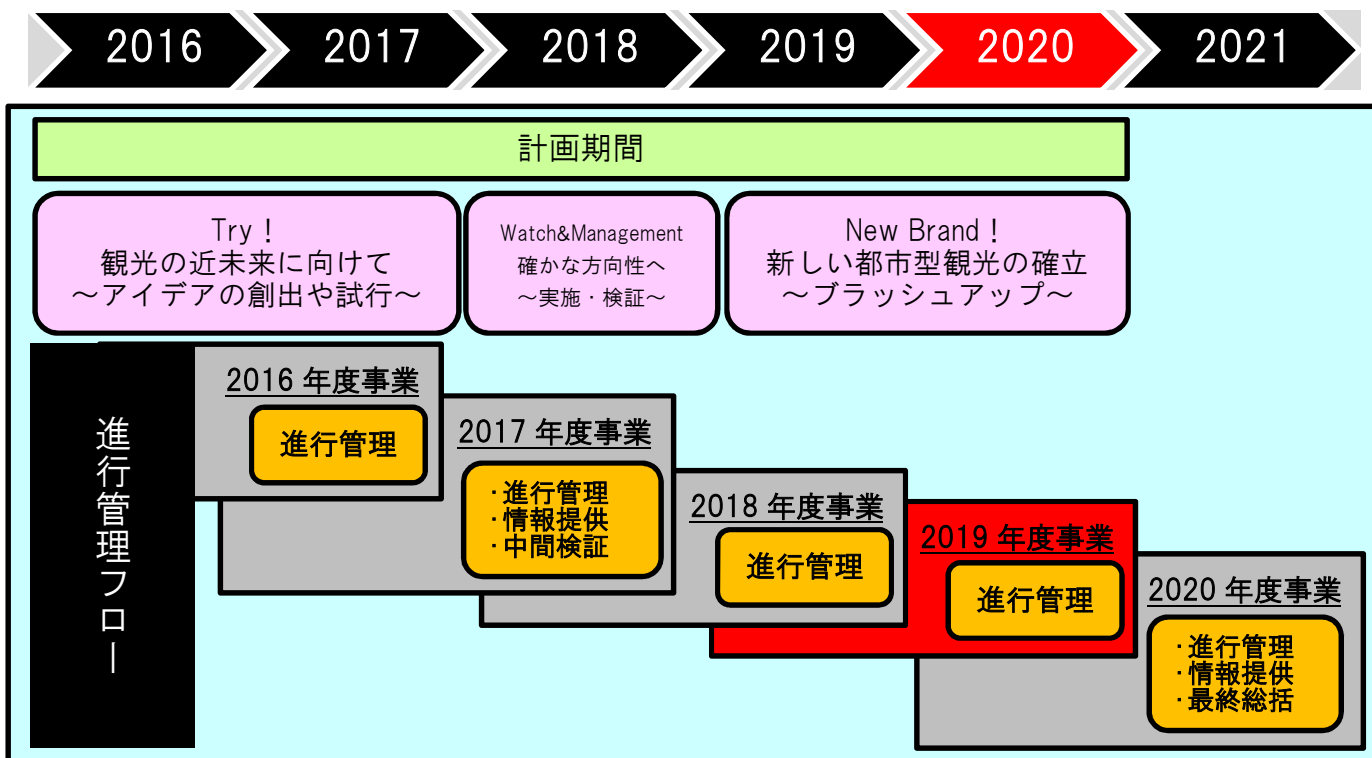
#### ②中間検証・最終総括

2018年度には、2ヵ年(2016・2017年度)の進捗状況を評価し、今後の方向性を検討する中間検証を実施しました。また、2021年度には、5ヵ年(2016～2020年度)を総合的に評価する最終総括を実施し、効果および課題等を評価します。

#### ③外部への情報提供

中間検証・最終総括では、市の部局を超えた関係各課所並びに(一社)越谷市観光協会および民間事業者等に情報を提供し、ヒアリング等を実施します。

#### 【スケジュール】



2. 目標値に対する実績値とその達成率の測定

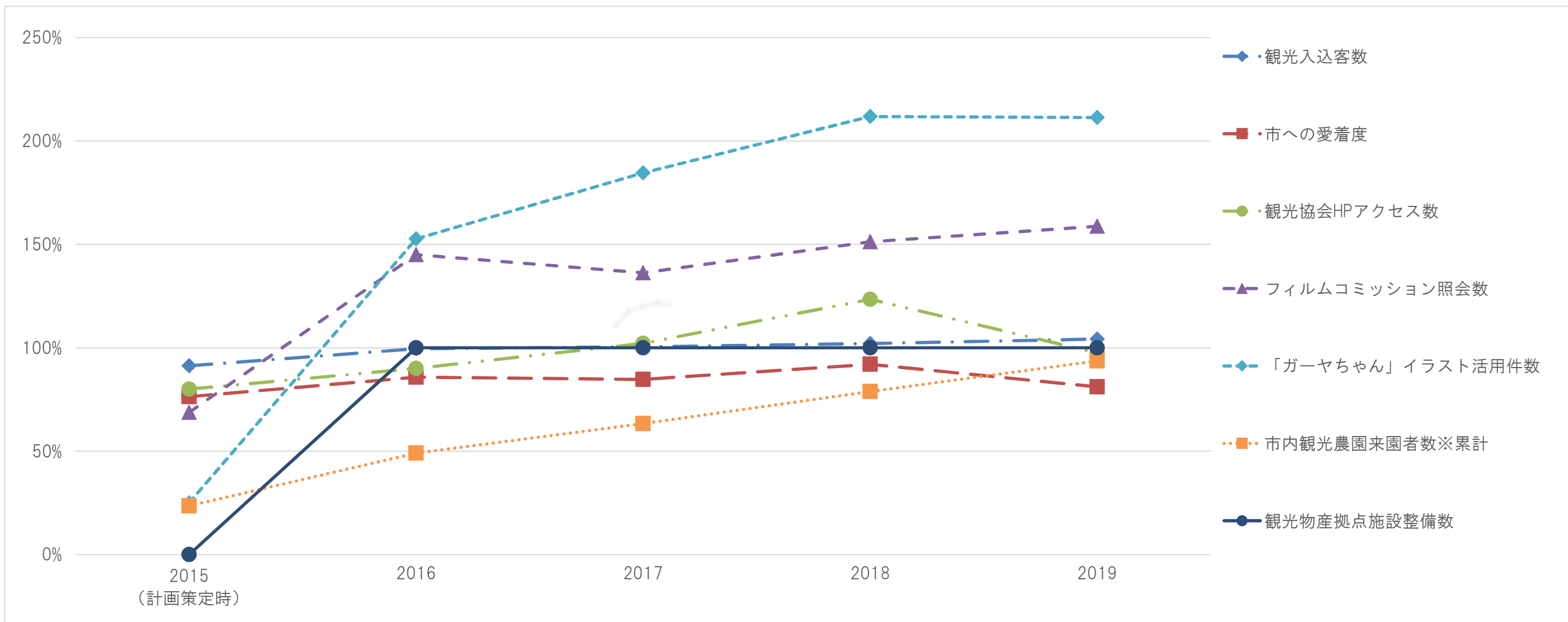
	目標	単位	目標値 (2020)	計画策定時 (2015)	進捗状況 (2019)			現在の進捗状況	関連する主な事業	今後の見通し
					実績値	達成率 (%)	進捗			
1	観光入込客数	人	58,000,000	52,935,926	60,454,140	104.2	計画通り	市内の名所・旧跡をはじめ、四季折々のイベントや水と緑の豊かな水辺空間等の地域資源のブラッシュアップに取り組んでいます。また、(株)JTBのノウハウ等の活用にも努め、数値は順調に進捗しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光ガイドブック等作成</li> <li>地域交流事業</li> <li>魅力発信プロモーション事業</li> <li>都市イメージ向上事業</li> <li>こしがやの未来を創る魅力宣伝大使事業</li> <li>いちごラン事業</li> <li>こしがや愛されグルメ発信事業</li> <li>観光課公式Instagramの運用（「#こしがや私の日常」インスタグラムフォトコンテスト）</li> <li>北越谷桜まつり事業</li> <li>花火大会事業</li> <li>田んぼアート事業</li> <li>観光PR事業</li> <li>ガーヤちゃんの蔵屋敷運営事業</li> </ul>	既存の地域資源のブラッシュアップに取り組むとともに、地域の魅力の掘り起こしや新たな観光コンテンツづくりに取り組むなど、新たな“都市型観光”を推進します。
2	市への愛着度	%	55.0	42.0	44.6	81.1	やや遅延	2015年度の市政世論調査から市への愛着度(シビックプライド)について、定期的に数値等を把握・分析しています。年度により実績値に変動がありますが、全体的な傾向としては横ばいの状態です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>越谷市民まつり</li> <li>こしがや愛されグルメ発信事業</li> <li>都市イメージ向上事業</li> <li>こしがやの未来を創る魅力宣伝大使事業</li> <li>観光課公式Instagramの運用（「#こしがや私の日常」インスタグラムフォトコンテスト）</li> <li>ガーヤちゃんの蔵屋敷運営事業</li> <li>観光ボランティアガイド事業</li> </ul>	市への愛着度(シビックプライド)の醸成のため、都市イメージ向上事業やこしがや愛されグルメ発信事業を実施するとともに、こしがやの未来を創る魅力宣伝大使や観光課公式Instagramアカウントを活用し効果的な情報発信を実施していきます。また、地方創生の視点を踏まえて整備した、観光物産拠点施設「ガーヤちゃんの蔵屋敷」では、日光街道の宿場町「越ヶ谷宿」の玄関口である越谷駅東口のにぎわいを創出するとともに、“こしがや”の魅力を内外に発信します。
3	観光協会HPアクセス数	件	180,000	144,000	175,485	97.5	計画通り	市への観光誘客の入り口となる(一社)越谷市観光協会のホームページは、2018年に改良を加え、2020年度には本格的なリニューアルを予定しています。概ね順調に推移しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウッドデッキ事業</li> <li>レイクタウン事業</li> <li>こしがや都市未来創造塾事業</li> <li>サイクリング事業(こしがやサイクルカフェプロジェクト)</li> <li>北越谷桜まつり事業</li> <li>花火大会</li> <li>田んぼアート事業</li> <li>観光PR事業</li> <li>観光ボランティアガイド</li> </ul>	魅力ある観光コンテンツを提供するとともに、よりアクセスしやすい環境を整え、積極的に情報を発信します。
4	フィルムコミッション照会数	件	80	55	127	158.8	計画通り	継続的に撮影業者と施設所管課との調整を行っています。問い合わせ件数は順調に増え、ロケ地ガイドも作成しました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>フィルムコミッション事業</li> </ul>	市のイメージアップにつながる作品を誘致できるように、効果的なPRに努めます。また、経済効果や市への愛着度(シビックプライド)につながる仕組みを検討します。
5	「ガーヤちゃん」イラスト活用件数	件	220	55	465	211.4	計画通り	「ガーヤちゃん」のイラストや着ぐるみについて、庁内をはじめ、民間事業者・団体等の利用促進に努めています。数値は目標値を上回り推移しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガーヤちゃんの活用</li> </ul>	「ガーヤちゃん」イラストや着ぐるみの利用促進に継続的に取り組みます。また、市内外のイベントに出演するなどガーヤちゃんを活用した市のPRに取り組みます。
6	市内観光農園来園者数 ※累計	人	627,000	147,794	587,197	93.7	計画通り	観光農園マップの作成、いちご関連イベントの開催等により観光農園のPRを行っています。市内児童・生徒への周知と併せて、シビックプライドの醸成を図るため、2019年度からは市内小中学校へいちご狩りポスターは配付しています。来園者は順調に増加しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>高収益農業推進事業</li> </ul>	市内外に向けて、いちご観光農園を広く周知するため、キャラクター(ストロングベリーちゃん)を用い、2019年度認定された埼玉県農産物ブランド「越谷完熟いちご」と併せてPRを行います。都市部からの交通利便性の良さを強みに、近隣都県への周知を行っています。
7	観光物産拠点施設整備数	件	1	0	1	100	計画通り	観光イベントや観光スポット並びに特産品等の情報発信および広域観光を展開するため、2016年に越谷駅東口の高架下、観光物産拠点施設「ガーヤちゃんの蔵屋敷」を整備しました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光物産拠点施設整備事業</li> <li>ガーヤちゃんの蔵屋敷運営事業</li> </ul>	観光物産拠点施設「ガーヤちゃんの蔵屋敷」において、観光物産をはじめ市の魅力や広域的な観光情報等の発信を運営主体である(一社)越谷市観光協会および市内事業者と連携し取り組みます。

【参考】

○実績値年度推移一覧

	項目（単位）	2015 （計画策定時）	2016（初年度）	2017	2018	2019	2020（目標値）
1	観光入込客数（人）	52,935,926	57,733,325	58,282,514	59,197,192	60,454,140	58,000,000
2	市への愛着度（%）	42.0	47.2	46.6	50.6	44.6	55.0
3	観光協会HPアクセス数（件）	144,000	162,061	183,901	222,187	175,485	180,000
4	フィルムコミッション照会数（件）	55	116	109	121	127	80
5	「ガーヤちゃん」イラスト活用件数（件）	55	336	406	466	465	220
6	市内観光農園来園者数※累計（人）	147,794	307,886	397,218	494,228	587,197	627,000
7	観光物産拠点施設整備数（件）	0	1	1	1	1	1

○目標値に対する達成率年度推移



### 3. 主要施策の評価とリーディングプロジェクトの推進

#### (1) 主要施策の実施状況

##### ①観光資源のブラッシュアップ

市内には、豊富な観光資源がある一方で、市外からの入込客や経済波及効果が期待できるものは、一部に限られています。

既存の観光資源に新たな価値（ストーリー性）を加える、見せ方を工夫するなど、個性を際立たせることで、普段得ることの出来ない時間や空間を提供し、人を外から惹きつける魅力の向上を図ります。

##### i) 進捗状況

花火大会、田んぼアート、南越谷阿波踊りなどのイベントは、主催する各実行委員会が主体となり運営され、毎年にごわいをみせています。

また、越谷レイクタウンにある大相模調節池では、2018年度から新たに取組みを開始した「都市イメージ向上事業」の一環として、参加型イルミネーションイベント「こしがやイルミネイク」を実施しています。スポーツ・グルメイベント「越谷いちごラン」は、観光振興に関する包括連携協定を締結した（株）JTBが事務局を運営し、地域を代表するファンランイベントにまで成長しています（2019年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止）。また、「KOSHIGAYAてしごと市」は、若い世代・子育て世代を中心に毎年にごわいをみせています。

水辺空間を活用した地域のビジネスの創造・育成を目指した「こしがや水辺の祭典」の参加事業者を中心に越谷レイクタウンの住民が参画して実現した越谷を楽しむ水辺のガーデンフェス「Lake & Peace」などの新たな取組が生まれ、今後の展開が期待されます。

##### ii) 関連目標

観光入込客数、市への愛着度、観光協会HPアクセス数、フィルムコミッション照会数

##### 《（株）JTBコメント》

観光入込客数は順調に伸びています。各観光資源の来訪者満足度・再来訪率・消費単価など客観的数値を用いて検証し、観光が地域に貢献できることをあらためて確認するとともに、マーケティングとマネジメントの視点を取り入れて取り組む必要があります。

##### ②イオンレイクタウンや地域産業を活かした取組の推進

越谷レイクタウンには、大型商業施設のイオンレイクタウンがあり、年間約5,000万人（計画策定時）の人が訪れています。さらに、首都近郊の地理的特性を活かした質の高い農業など、観光資源としても価値のある産業があります。

これらの地域にある産業の強みを観光の視点で活かした取組を推進します。

##### i) 進捗状況

イオンレイクタウンとは、これまで「越谷・徳島物産観光交流フェア」並びにリオデジャネイロオリンピック・パラリンピックのパブリックビューイングやメダル獲得後の報告会等の会場として使用するなど、年間5,000万人（計画策定時）を超える集客力を強みとした連携に取り組んできました。

2017年度からは、「こしがや愛されグルメ発信事業」の企画・運営で連携するなど、取組の幅は広がっています。さらに、2018年度には、参加型イルミネーションイベント「こしがやイルミネイク」のPR協力や、「徳島市・越谷市物産フェア」開催時の会場提供、2019年度には「#こしがや私の日常」インスタグラムフォトコンテストのPR協力や、受賞作品展示会の会場提供が

ありました。さらに、越谷を楽しむ水辺のガーデンフェス「Lake&Peace」では、大相模調節池周辺とイオンレイクタウン OUTLET の回遊性を創出しました。

越谷いちごのブランド化の取組としては、2016 年度に、東武鉄道（株）、東京急行電鉄（株）および東京地下鉄（株）（東京メトロ）の鉄道事業者並びに目黒区「自由が丘のスイーツ店」と越谷いちごタウンが連携し、プロモーション事業を実施しました。

中心市街地である越谷駅東口の日光街道「越ヶ谷宿」周辺では、「雛めぐり」・「甲冑めぐり」や「宿場まつり」が開催され、さらに広域連携事業「日光街道埼玉六宿スタンプラリー」と連携した集客を図っています。

## ii) 関連目標

観光入込客数、市内観光農園来園者数、観光物産拠点施設整備数

## 《（株）JTBコメント》

越谷市における観光を考えた際、イオンレイクタウンは欠かすことのできない観光資源であり連携は今後も必要と考えます。また、地域経済への波及効果を図るためには、特に地域産業の域内調達率も考慮していく必要があります。越谷いちごのブランド化は、さらにすすめていくべきであり、大きな可能性があります。

## ③新たな魅力の創造と観光基盤の整備

市内には、あまり知られていない地域資源（地域のネタ）も数多くあります。これらのポテンシャルを引き出すなど、観光資源としての掘り起こしを行うとともに時代の先端を行く新たな魅力の創造に取り組みます。

また、旅行会社である（株）JTBとの包括連携協定を活かした地域交流事業並びに宿泊施設や交通インフラの整備などを促進します。

## i) 進捗状況

市内にある自転車メーカー、ホダカ（株）は（一社）越谷市観光協会と連携し、スポーツサイクル講習会を実施するとともに、自転車愛好者の新たなネットワークによる市内観光スポットめぐりにも取り組んできました。2017 年度は、スポーツサイクル講習会のスピンオフ企画として、「越谷女子会ライド」を開催するなど、スポーツサイクリングを通じたライフスタイルの提案や情報発信に取り組み、「自転車のある暮らし」をテーマとしたパンフレットも作成しました。2018 年度からは市内のカフェと連携した、「こしがやサイクルカフェプロジェクト」が始動し、現在登録店舗は14店となっています。

また、（株）JTBは、環境美化活動や地域文化を学習する交流事業「地球いきいきプロジェクト」やスポーツ・グルメイベント「越谷いちごラン」の企画・運営に携わり、大手旅行会社のノウハウを活かした新たなコンテンツづくりに取り組んでいます。2017 年度からは、越谷市と越谷商工会議所が共催する「こしがや愛されグルメ発信事業」の事務局として、その企画・運営に関わっています。さらに、2018 年度から開催している参加型イルミネーションイベント「こしがやイルミレイク」では、住民が参加し地域の誇りにつながるイベントとして、レイクタウンで活動するコミュニティでカジュアルに楽しめるライフスタイル型のコンテンツとして運営しています。

宿泊施設については、2017 年度、2018 年度に、越谷駅周辺に相次いでビジネスホテルがオープンしました。観光基盤のさらなる整備に向けては、こうした動きを的確に捉え、民間事業者との連携を視野に引き続き取り組んでいく必要があります。

## ii) 関連目標

観光入込客数、観光協会HPアクセス数、市内観光農園来園者数



## 《(株)JTBCコメント》

裾野が広いと言われる観光産業において、必要な施策を実施し基盤を整えていくためには、多様な組織・団体との連携が欠かせません。民間事業者のノウハウを積極的に活用し効果的な観光地経営の実現を目指す必要があります。「こしがやサイクルカフェプロジェクト」や「こしがや愛されグルメ発信事業」、「こしがやイルミネイク」は、市民のライフスタイルと集客を結びつける可能性があり、今後の可能性、“のびしろ”を感じます。

### ④観光を核としたブランドプロモーションの推進

近年、SNSによる情報発信とその影響力が注目され、日本はもちろん、世界中の人々が日々情報をブログやフェイスブックで発信しています。これらの情報発信・コミュニケーションツールを活用したPR戦略やフィルムコミッション、越谷特別市民「ガーヤちゃん」、こしがや愛されグルメ認証品のさらなる活用などにより、市のイメージ向上につながるブランドプロモーションを推進します。

#### i) 進捗状況

観光物産拠点施設「ガーヤちゃんの蔵屋敷」では、こしがや愛されグルメ認証品、伝統的手工芸品、ガーヤちゃんグッズなどの販売や伝統的手工芸品（だるま、せんべい）の体験型コンテンツの提供、さらには、東武鉄道沿線の巨大ジオラマによる広域観光PR等により、日光街道の宿場町「越ヶ谷宿」の玄関口でもある越谷駅東口のにぎわいを創出するとともに、本市の魅力を内外に発信しています。

また、「魅力発信プロモーション事業」では、継続的に本市の知名度向上や集客による経済活性化につながる地域資源を体系的に整理するとともに、民間事業者等のプロモーション事業につながる取組を支援しています。

2018年度から実施している「都市イメージ向上事業」では、“こしがや”ならではのライフスタイルをテーマにしたPR冊子・PR動画（2018年度：「越谷“素”小説」、2019年度：「こしがやエモいマップ」）を作成・発信するとともに、越谷レイクタウン地内の大相模調節池において、参加型イルミネーションイベント「こしがやイルミネイク」を開催しました。さらに、首都圏に住む子育て世代に向けたプロモーション（2018年度：プロモーションイベント「越谷“素”生活」、2019年度：東武鉄道（株）トレインチャンネルを活用した広告プロモーション）を実施しています。

フィルムコミッションでは、NHK発地域ドラマ「越谷サイコー」（2017年度）、NHKEテレ「ふるカフェ系ハルさんの休日」・TBS系火曜ドラマ「初めて恋をした日に読む話」（2018年度）を誘致し、番組放送とあわせて地域の魅力を発信しています。

SNSを活用した情報発信として、写真共有アプリ「インスタグラム」の運用を開始しました。地域の魅力の発見・発信につながる「#こしがや私の日常」インスタグラムフォトコンテストを実施し、こしがやの魅力発信に取り組みました。

2018年度から開始した「こしがやの未来を創る魅力宣伝大使事業」においては、越谷市にゆかりのある著名人・団体を大使として委嘱し、地域の誇りとして、その魅力を内外に広告宣伝するとともに、子どもたちの身近な憧れの存在として、夢や希望のあるメッセージを発信しています。2019年度は、モデル・商品プロデューサーの益若つばささんによる「#こしがや私の日常」インスタグラムフォトコンテストのプロデュース、元競泳日本代表の星奈津美さんによる市内各種イベントへの出演・越谷ふあり（こしがや愛されグルメ認証品）の新商品のプロデュースを実施した他、都市イメージ向上事業の一環として制作した「こしがやエモいマップ」（冊子編・動画編）では、益若さん、星さんに加え、大相撲幕内力士の阿炎関にこしがやの魅力を語ってもらいました。

## ii) 関連目標

観光入込客数、市への愛着度、観光協会HPアクセス数、フィルムコミッション照会数、「ガーヤちゃん」イラスト活用件数、観光物産拠点施設整備数

### 《(株)JTBCコメント》

地域の持つ多彩な魅力を活かした都市イメージを発掘・編集し、ストーリーとして発信するブランドプロモーションは、総合的なまちの価値向上に繋がります。地域のブランディングは、長期的な視点で継続して実施する必要がありますが、そのためには、定期的に効果を測定し、都市経営の視点で戦略的に取り組んでいく必要があります。

フィルムコミッション事業は、映像作品の単なる誘致・支援にとどまってしまうと効果は期待できません。地域の魅力づくりの一環として効果を意識する必要があります。

## ⑤訪日外国人旅行者の誘客と広域観光の推進

東京オリンピック・パラリンピックの開催決定もあり、訪日外国人旅行者は、年々増加しています。訪日外国人旅行者の嗜好にあった自然・歴史・伝統・文化や食を通じた体験交流型メニューの企画・実践や受入体制の整備などに取り組みます。

また、他の自治体並びに大型商業施設や鉄道会社などの民間事業者と連携し、人の移動と交流を通じた互恵的関係を築き、相乗効果が期待できる広域観光を推進します。

### i) 進捗状況

東京オリンピック・パラリンピックの開催決定を契機に訪日外国人旅行者は年々増加してきました。2015年度は、越谷市観光振興計画を策定するにあたり、「南越谷阿波踊り外国人モニターツアー」を実施しました。また、2016年度は、埼玉県東南部都市連絡調整会議（構成：越谷市、草加市、八潮市、三郷市、吉川市および松伏町）において「広域における外国人モニターツアー」を実施し、日本庭園「花田苑」や南越谷阿波踊りなどのコンテンツについて検証しました。さらに、2017年度は、訪日外国人旅行者を対象とした多言語ガイドブック「埼玉リングルート」を発行し、東武スカイツリーラインの浅草駅やとうきょうスカイツリー駅等で配布しました。さらに、2019年度は、「埼玉リングルート」の動画を制作し、インフルエンサーを活用したプロモーションを実施しました。

東武鉄道沿線自治体との連携については、日光街道の埼玉県内にある六宿（草加宿、越ヶ谷宿、粕壁宿、杉戸宿、幸手宿、栗橋宿）の相互連携によるスタンプラリーを実施しています。さらに、2018年度は東武鉄道（株）と連携し、とうきょうスカイツリー駅構内において「越谷だるま」や「籠染燈籠」の展示並びにAR機能により観光情報を多言語発信しました。

南越谷阿波踊りが始まって以降、阿波踊り連が相互に参加するなど民間レベルでの交流を深めてきた徳島県徳島市とは、「産業フェスタ」（越谷市）および「はな・はる・フェスタ」（徳島市）において相互出展するとともに、越谷市の学校給食のメニューに徳島市産『すだち』と『れんこん』を取り入れるなど、双方が経済・観光振興についてメリットを得られる関係を目指し、連携を進めてきました。

東北被災地三市（岩手県大船渡市、宮城県東松島市・名取市）および福島県二本松市との観光物産交流として、2019年度に観光物産拠点施設「ガーヤちゃんの蔵屋敷」において東北三県物産フェア（名取市不参加）を開催しました。

### ii) 関連目標

観光入込客数、市への愛着度、観光協会HPアクセス数

### 《(株)JTBCコメント》

新型コロナウイルスの感染拡大の影響から、東京オリンピック・パラリンピックの開催が延期

となり、インバウンド需要は激減しているほか国内の旅行消費も落ち込んでいます。今後の旅行消費動向を分析しインバウンドやその他のマーケットを見据えて、今から戦略を立てていく必要があります。

新型コロナウイルスの影響で旅行の多極化がすすみ、地元や遠方ではなく、近隣で楽しむ観光が注目されることが予想されます。近隣の自治体で連携し、広域エリアにおいて身近な非日常を提供することが重要と考えます。

## ⑥シビックプライド（郷土愛）の醸成と観光人材の育成

市内には、「越谷といえば〇〇」というシンボリックなものが乏しく、全国的に有名な観光名所も有していないことから市民の観光に対する意識が高いとはいえません。

市民が地域について、よく知り、よく理解することで、地域に愛着を持ち、誇りを持てるシビックプライド（郷土愛）の醸成を図ります。また、持続的に地域からの観光に取り組む人材の育成と着地型観光に不可欠なおもてなし力の向上に取り組みます。

### i) 進捗状況

市民団体等を対象にこしがやの魅力を発信する講座を開催しました。また、各種観光事業を展開するにあたって、民間事業者との連携や地域との交流を促進する手法を用い、こしがやの魅力を発信しています。これまでJ:COMが運営するケーブルテレビ番組「ネギッシュ」、「ご当地サタデー」並びに（一社）埼玉県物産観光協会が発行する情報誌「ちょこたび埼玉」、（株）ぱどが発する地域密着型フリーペーパー、さらには、市民団体「こしがや地域ネットワーク 13」が発行した「越谷彩発見！徳川ゆかりの地で遊ぶ」の冊子などで取り上げられました。

また、（一社）越谷市観光協会が実施する「こしがや都市未来創造塾」では、こしがやの地域資源を活用し、その魅力を編集し、かつ、その価値を伝えるカリキュラムの中で、新たな集客交流ビジネスを創出する事業計画づくりに取り組みました。

都市イメージ向上事業では、2018年度に実施した「越谷“素”小説」（冊子編・動画編）制作で地域での関わりやライフスタイルについて原稿の執筆依頼をするとともに、2019年度で実施した「こしがやエモいマップ」（冊子編・動画編）制作で、子育て世代や若い世代を中心にワークショップ・アンケートを実施するなど市民参加によるプロモーションに取り組みました。

### ii) 関連目標

市への愛着度、フィルムコミッション照会数、「ガーヤちゃん」イラスト活用件数、観光物産拠点施設整備数

### 《（株）JTBコメント》

シビックプライドは、市民とまちとの関わり、いわゆる当事者としての地域への共感から生まれます。そのためには、市民とまちとの接点が大変重要になりますが、市内の事業者や各種団体との市民参加や協働の仕組みを観光分野においても構築していくことが効果的です。また、地域にある観光資源を地域住民が発掘し、発信する着地型観光に取り組む観光ボランティア制度の強化も大切です。

## (2) リーディングプロジェクトについて

### ①水辺空間を活用した新たなコンテンツづくり

水辺空間を観光資源として、“癒しの非日常”や“本物の感動”、“楽しい”をテーマに新たな魅力を創造するコンテンツづくりに取り組みます。

#### i) 主な取組

- ・ディンギー体験の事業化（ディンギーパーク）【(一社) 越谷市観光協会】
- ・「こしがや水辺の祭典 2018」（社会実験）の実施【越谷商工会議所】
- ・スポーツ・グルメイベント「越谷いちごラン」の開催【(株) JTB】
- ・「地球いきいきプロジェクトの」（環境交流事業）開催【(株) JTB】
- ・「TABICA」（体験型コンテンツ予約・掲載サイト）と連携したディンギー体験教室の開催【(一社) 越谷市観光協会】
- ・イオンレイクタウンおよび水辺のまちづくり館周辺を会場とした「防災フェス」、「エコウィーク」への参加【市・(一社) 越谷市観光協会】
- ・葛西用水ウッドデッキ「KOSHIGAYAてしごと市」の開催【(一社) 越谷市観光協会】
- ・都市イメージ向上事業、参加型イルミネーションイベント「こしがやイルミレイク」の実施【市：事務局 (株) JTB】
- ・Lake & Peace 越谷を楽しむ水辺のガーデンフェスの開催【(株) まちづくり越谷】

### ②イオンレイクタウンとの連携と回遊性の向上

年間約 5,000 万人（計画策定時）という買物客や“レイクタウン”の知名度は、観光資源として考えると大きな強みとなります。買物客が、レイクタウンから市内の観光施設へ足をのばしてもらえるような仕組みを考え、“越谷レイクタウンを楽しむ”から“越谷全体を楽しむ”という観光ルートづくりに取り組みます。

#### i) 主な取組

- ・「こしがや愛されグルメ発信事業」の実施【市・越谷商工会議所：事務局 (株) JTB】
- ・「越谷 逸品フェア」の開催【越谷商工会議所】
- ・こしがやブランド認定品に係る意見聴取会での連携【市】
- ・こしがやブランド認定品の販売促進フェア等に係る取組【市・(一社) 越谷市観光協会・こしがやブランド認定品認定事業者】
- ・リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックにおける星奈津美さんの応援【市】  
（イオンレイクタウンを会場としたパブリックビューイング並びにメダル獲得後の報告会および市民栄誉賞授賞式での連携）
- ・イオンレイクタウンを会場とした埼玉県フェアへの参加【市・(一社) 越谷市観光協会】
- ・イオンレイクタウンおよび水辺のまちづくり館周辺を会場とした「防災フェス」、「エコウィーク」への参加【市・(一社) 越谷市観光協会】《再掲》
- ・都市イメージ向上事業、参加型イルミネーションイベント「こしがやイルミレイク」の実施【市：事務局 (株) JTB】《再掲》
- ・「#こしがや私の日常」イン素タグラムフォトコンテスト受賞作品展示会の実施【市：事務局 (株) ぱど】
- ・Lake & Peace 越谷を楽しむ水辺のガーデンフェスの開催【(株) まちづくり越谷】《再掲》

### ③食を活かしたトップブランドの創出

観光農園で代表的な存在のいちごは、“越谷といえば〇〇”という代表的な観光資源になる可能性を有しています。“豪華さ”や“限定”を前面に出した高付加価値化やスイーツ等の開発による6次産業化に、生産者、食品加工会社、販売店のノウハウを持ち寄り取り組むなど、民間事業者との連携によるプロモーションに取り組みます。

このほか、市民に広く親しまれているご当地グルメ「こしがや鴨ネギ鍋」や外国人（欧米の富裕層）に人気のある枝豆等があります。市の特徴の一つである首都近郊の農業を強みとした食のブランド化に取り組みます。

#### i) 主な取組

- ・「こしがや愛されグルメ発信事業」の実施【市・越谷商工会議所：事務局（株）JTB】《再掲》
- ・いちごDEつながるキャンペーンの実施【市・目黒区・東武鉄道（株）、東急電鉄（株）・東京地下鉄（株）（東京メトロ）・越谷市農業団体連合会観光農園部会等】
- ・スポーツ・グルメイベント「越谷いちごラン」の開催【（株）JTB】《再掲》
- ・越谷いちごを使用したスイーツ「いちご雪」の東京ドームふるさと祭り東京への出展【（一社）越谷市観光協会】
- ・産業フェスタにおける「こしがや鴨ねぎ鍋」のPR【越谷商工会議所】

### ④（株）JTBのノウハウを活かした展開

（株）JTBは、旅行会社であり、旅行商品の企画や旅行情報誌の発行などで培った質の高いノウハウがあります。これらのノウハウを活かした観光コンテンツの開発やブランドづくり、地域活性化に取り組みます。

#### i) 主な取組

- ・「こしがや愛されグルメ発信事業」の実施【市・越谷商工会議所：事務局（株）JTB】《再掲》
- ・スポーツ・グルメイベント「越谷いちごラン」の開催【（株）JTB】《再掲》
- ・「地球いきいきプロジェクト」（環境交流事業）の開催【（株）JTB】《再掲》
- ・「広域における外国人モニターツアー」の実施【埼玉県東南部都市連絡調整会議・（株）JTB】
- ・「都市イメージ向上事業」の実施【市：事務局（株）JTB】

### ⑤宿泊施設や公共交通などの観光基盤の整備

宿泊施設や公共交通などの整備は、観光客の滞在時間や旅行消費額に大きく影響し、観光の質を大きく変える可能性があります。民間事業者と連携し、ホテルなどの宿泊施設や二次交通をはじめとする公共交通などの観光基盤の整備を促進します。

#### i) 主な取組

- ・民間企業と連携した宿泊施設の誘致促進【市】
- ・無料公共無線LAN環境の整備検討【市】

### ⑥ターゲットを明確にしたプロモーションの強化

人と人とのつながりを促進し、速報性、双方向性、拡散性などの性質から口コミによる影響力のあるSNSを活用した、市民や観光客と連携した情報発信に取り組みます。

また、観光・物産を中心とした“こしがや”の魅力を発信する拠点を整備するとともに、今後

の道の駅との連携を視野に入れた展開を検討します。発信する情報の内容により、訪日外国人旅行者向けやリピーターとして期待できる近隣自治体住民向けなどターゲットを絞り、必要な情報を必要なタイミングで発信するなど、効果的なPRに取り組みます。

さらに、越谷特別市民「ガーヤちゃん」のイベント等への参加やキャラクター商品の開発・販売並びに都市景観を活かしたフィルムコミッションの推進により越谷市のイメージ向上を図ります。

#### i) 主な取組

- ・「こしがや愛されグルメ発信事業」の実施【市・越谷商工会議所：事務局（株）JTB】《再掲》
- ・観光物産拠点ガーヤちゃんの蔵屋敷の運営【（一社）越谷市観光協会】
- ・ガーヤちゃんのブログ・フェイスブックによる観光情報等の発信【市】
- ・越谷特別市民「ガーヤちゃん」のイラストおよび着ぐるみの貸し出し並びにイベントへの参加【市】
- ・越谷市フィルムコミッションによる映像作品等の誘致【市】
- ・「魅力発信プロモーション補助事業」を活用した首都圏でのイベント等への出展【市・こしがやブランド認定事業者等】
- ・「都市イメージ向上事業」の実施【市：事務局（株）JTB】《再掲》
- ・サイクリング事業（こしがやサイクルカフェプロジェクト）の実施【（一社）越谷市観光協会】
- ・観光課公式Instagramアカウントの運用【市】
- ・「#こしがや私の日常」インスタグラムフォトコンテストの実施【市：事務局（株）ぱど】

### ⑦訪日外国人旅行者を対象にしたクールなコンテンツづくり

地域の魅力を活かした、日帰りツアーや、市民団体などによる着地型コンテンツの企画・実践によるインバウンド観光に取り組みます。

#### i) 主な取組

- ・インバウンド対象の多言語版広域観光ガイドブック「SAITAMA RING ROUTE」の発行【埼玉県東南部都市連絡調整会議】
- ・日本文化伝承の館「こしがや能楽堂」の英語版ガイドブックの作成【市】
- ・「広域における外国人モニターツアー」の実施【埼玉県東南部都市連絡調整会議・（株）JTB】《再掲》
- ・東武鉄道（株）と連携したとうきょうスカイツリー駅構内でのプロモーション【市・東武鉄道（株）】
- ・無料公共無線LAN環境の整備検討【市】《再掲》
- ・インバウンド対象の多言語版広域観光ガイドブック「SAITAMA RING ROUTE」PR動画の制作及び拡散【埼玉県東南部都市連絡調整会議】

### ⑧シビックプライド（郷土愛）の醸成

各種媒体や民間事業者をはじめ、小・中学校や高等学校、大学など教育機関、さらには、図書館や公民館などの社会教育施設との連携により、市民に地域の魅力を伝えることで、地域についての理解を深め、シビックプライド（郷土愛）の醸成に取り組みます。さらに、市民自らが、地域に愛着を持ち、誇りを持つことで、住んでよかったまち“こしがや”の魅力を全国に発信することを目指します。

## i) 主な取組

- ・ ボランティアガイド育成講座の開催【(一社) 越谷市観光協会】
- ・ 市民まつり・協働フェスタへの出展【(一社) 越谷市観光協会】
- ・ こしがやの魅力を発信する講座の開催【市】
- ・ ケーブルテレビ番組「ネギッシュ」での観光情報の発信【J:COM】
- ・ 情報誌「ちょこたび埼玉」での観光情報の発信【(一社) 埼玉県観光物産協会】
- ・ 「越谷彩発見! 徳川ゆかりの地で遊ぶ」の冊子の発行【市民団体「こしがや地域ネットワーク13」】
- ・ 「こしがや都市未来創造塾」における地域観光ビジネスの人材育成【(一社) 越谷市観光協会】
- ・ 越谷特別市民「ガーヤちゃん」のイラストおよび着ぐるみの貸し出し並びにイベントへの参加【市】《再掲》
- ・ 越谷市フィルムコミッションによる映像作品等の誘致【市】《再掲》
- ・ 「都市イメージ向上事業」の実施【市:事務局(株)JTB】《再掲》
- ・ 「こしがやの未来を創る魅力宣伝大使事業」の実施【市】
- ・ 観光課公式インスタグラムアカウントの運用【市】《再掲》
- ・ 「#こしがや私の日常」インスタグラムフォトコンテストの実施【市:事務局(株)ぱど】《再掲》

#### 4. 参考資料【主な事業一覧】

事業名	事業概要	実施主体	関連目標
観光ガイドブック等作成	観光ガイドブックおよび観光プロモーションリーフレットを作成し、市民とともに市外の方々に対しても、各観光資源の認知度向上を図ります。	観光課	<u>観光入込客数</u> 、市への愛着度、市内観光農園来園者数
地域交流事業	徳島市や東北被災地 3 市（大船渡市・名取市・東松島市）などとの観光・物産交流をとおして、越谷市を市外に P R し、観光・産業の発展等につなげていきます。	(一社)越谷市観光協会、観光課	<u>観光入込客数</u> 、観光協会 H P アクセス数、市内観光農園来園者数
魅力発信プロモーション事業	民間事業者が主体となって取り組む、こしがや愛されグルメ認証品等の市の地域資源を活用した市のプロモーションにつながる取組を支援します。	観光課	<u>観光入込客数</u> 、市への愛着度、市内観光農園来園者数
北越谷桜まつり事業	北越谷元荒川堤に 2 キロメートルにわたり約 300 本のソメイヨシノが植樹されており、3 月下旬から 4 月上旬にかけて夜桜をライトアップする北越谷桜まつりを開催します。	(一社)越谷市観光協会	<u>観光入込客数</u> 、市への愛着度、観光協会 H P アクセス数
花火大会	夏の風物詩として越谷花火大会を開催します。	実行委員会 事務局：(一社) 越谷市観光協会	<u>観光入込客数</u> 、市への愛着度、観光協会 H P アクセス数
田んぼアート事業	市内の水田を利用し、市民とともに色彩の異なる複数の稲を作付し、文字や絵柄などを表現する「田んぼアート」に取り組みます。	実行委員会 事務局：(一社) 越谷市観光協会	<u>観光入込客数</u> 、市への愛着度、観光協会 H P アクセス数
観光 P R 事業	住民に地域の良さを再確認してもらうことで、郷土愛の醸成を図るとともに、内外に地域の魅力を発信します。(越谷カレンダー、いちご連携、日光街道埼玉六宿連携等)	(一社)越谷市観光協会	<u>観光入込客数</u> 、市への愛着度、市内観光農園来園者数
いちごラン事業	「越谷いちご」を活用したスポーツ・グルメイベント「いちごラン」の開催を支援します。大相模調節池周辺を会場とし、クォーターマラソンやグループマラソン等を実施し、参加賞として越谷いちごや越谷いちご入りシュークリーム等を配布します。	(株) J T B	<u>観光入込客数</u> 、市への愛着度、市内観光農園来園者数
「ガーヤちゃんの蔵屋敷」運営事業	こしがや愛されグルメ認証品、伝統的手工芸品、ガーヤちゃんグッズなどの販売や伝統的手工芸品(だるま、せんべい)の体験型コンテンツの提供、さらには、東武鉄道沿線の巨大ジオラマによる広域観光 P R 等で市の魅力を内外に発信します。	(一社)越谷市観光協会	<u>観光入込客数</u> 、市への愛着度



事業名	事業概要	実施主体	関連目標
越谷市民まつり	市民が安心して暮らすことが出来る、社会の創造と市民相互の心のふれあいを目的として、市民まつりを開催します。	実行委員会 (事務局：観光課)	観光入込客数、 <u>市への愛着度</u>
こしがや愛されグルメ発信事業	地域に愛されている「手みやげ」や、おススメしたい「飲食店メニュー」を認証し、“こしがや”の食の景観をプロモーションします。	観光課、越谷商工会議所 (事務局：(株)JTB)	観光入込客数、 <u>市への愛着度</u>
観光ボランティアガイド	越谷市観光協会から委嘱を受けた「こしがやのまち案内人」が、市内を巡るガイドツアーを開催します。	(一社)越谷市観光協会	<u>市への愛着度</u> 、観光協会HPアクセス数
ウッドデッキ事業	葛西用水ウッドデッキを活用し、市民参加型の各種事業を実施するとともに、市民団体等の利用促進に努め、地域の賑わい創出と活性化に努めます。	(一社)越谷市観光協会	観光入込客数、市への愛着度、 <u>観光協会HPアクセス数</u>
レイクタウン事業	水辺のまちづくり館や大相模調節池等を活用した観光事業等を実施し、にぎわいの創出を図ります。	(一社)越谷市観光協会	観光入込客数、市への愛着度、 <u>観光協会HPアクセス数</u>
都市未来創造塾事業	新たな観光の担い手となる優れた人材を育成・輩出する人材アカデミー「こしがや都市未来創造塾」を開催します。	(一社)越谷市観光協会	市への愛着度、 <u>観光協会HPアクセス数</u>
サイクリング事業(こしがやサイクルカフェプロジェクト)	自転車を活用し、市内に点在する観光地・飲食店を回遊する仕組みづくりを、市内に本社を置く自転車メーカー「ホダカ(株)」と連携して取り組みます。 「こしがやサイクルカフェプロジェクト」ではスポーツサイクリングとカフェの相性の良さを活かし、こだわりのあるライフスタイル・楽しみ方を提案します。	(一社)越谷市観光協会	<u>観光協会HPアクセス数</u>
フィルムコミッション事業	都心から近く、特徴のある施設や景観を活かした撮影場所の調整を行います。	観光課	市への愛着度、 <u>FC照会数</u>
ガーヤちゃんの活用	「ガーヤちゃん」イラストや着ぐるみについて、積極的な活用を推進することで、市のPRおよび地域経済の活性化の一助とします。	観光課	市への愛着度、「 <u>ガーヤちゃん</u> 」イラスト活用件数
高収益農業推進事業	農業経営の収益性向上のため、施設園芸や観光農業に取り組む農業者を支援します。また、「越谷いちご」の産地形成に取り組むとともに、観光事業との連携を図ります。	農業振興課	観光入込客数、 <u>市内観光農園来園者数</u>

事業名	事業概要	実施主体	関連目標
観光物産拠点施設整備事業	観光イベントや観光スポット並びに特産品等の情報発信および広域観光を展開するため、越谷駅東口高架下に、観光物産拠点施設を整備します。	観光課	観光入込客数、市への愛着度、観光協会HPアクセス数、 <u>観光物産拠点施設整備数</u>
都市イメージ向上事業	“こしがや”ならではのライフスタイルをテーマに映像やパンフレットを作成・発信するとともに、首都圏において一体性・一貫性を持ったプロモーションを展開します。さらに、本市の代表的地域資源である越谷レイクタウン地内の大相模調節池において、市民が支持し誇れるイベントを実施します。	観光課 (事務局：(株)JTB)	観光入込客数、 <u>市への愛着度</u>
こしがやの未来を創る魅力宣伝大使事業	市にゆかりのある著名人・団体を「こしがやの未来を創る魅力宣伝大使」に委嘱し、地域の誇りとして、その魅力を内外に広告宣伝するとともに、子どもたちの身近な憧れの存在として、夢や希望のあるメッセージを発信します。	観光課	観光入込客数、 <u>市への愛着度</u>
観光課公式Instagramアカウントの運用	写真共有アプリ「Instagram」の公式アカウントを運用し、市の魅力を発信することで、首都圏に向けたプロモーションを目指します。	観光課	観光入込客数、 <u>市への愛着度</u>